

ディスクロージャー資料

ＪＡ大井川 令和7年度上半期経営状況のご案内

1 J Aの地域貢献

当ＪＡは、藤枝市、焼津市、島田市、川根本町を事業区域として、農業者を中心に地域の皆様とお互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、管内農業・地域社会の活性化に資する地域金融機関です。

皆様からお預かりした貯金等の資金は、資金を必要とする組合員や地域の皆様に融資すること等を通じて、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいております。

「農業を核とした新しい協同組合活動の展開」「地域社会に貢献する組織体であることの再認識」「信頼と満足が提供できる近代的経営体を目指す」を経営理念として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融事業だけでなく総合的に事業活動を行っています。また、農業や協同活動を通じて、次のような地域社会・文化への貢献に努めています。

◆農業振興と地域・文化への貢献

地域農業の維持発展と農業経営の向上を目指し、職員が農業の現場に出向き「みどりの食料システム」や「スマート農業」に対応した農業経営支援や営農指導体制の強化を行いました。情報通信技術（ICT）を活用した農業の推進により、農業労働力不足の改善や農作業の省力化を進めています。ドローンによる防除も実施しています。また、農業振興支援対策として援農ボランティアを受け入れました。店舗では、窓口へ来店されたお客様への声掛け・確認を通じて警察と連携をとり、特殊詐欺被害を未然に防止しました。

2 金融再生法開示債権（単体）

当ＪＡの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な資産自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

（単位：百万円）

債 権 区 分	令和7年3月末	令和7年9月末	増 減
破 産 更 生 債 権 及 び こ れ ら に 準 ず る 債 権	187	267	80
危 険 債 権	953	765	▲ 188
要 管 理 債 権	—	—	—
三月以上延滞債権	—	—	—
貸出条件緩和債権	—	—	—
小 計	1,141	1,033	▲ 108
正 常 債 権	185,377	184,988	▲ 389
合 計	186,519	186,021	▲ 498

（注）1. 令和7年9月末の計数は、令和7年8月末を基準日として行った資産自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

ア.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、更生、再生手続開始の申し立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

イ.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性が高い債権です。

ウ.「要管理債権」とは、エ.「三月以上延滞債権」、オ.「貸出条件緩和債権」に該当する債権の合計額を指します。

エ.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、ア及びイに該当しない債権を指します。

オ.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者の有利となる取り決めを行った貸出金で、ア、イ、エに該当しないものを指します。

カ.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権を指します。

3 単体自己資本比率（国内基準適用）

当ＪＡの自己資本比率は令和7年9月末15.86%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

令和7年3月末	令和7年9月末（見込み）
15.16%	15.86%

（注）1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（出資金や利益準備金、積立金、剰余金等の合計額）} \times 100}{\text{信用リスク・アセット（当ＪＡの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額）} + \text{オペレーショナルリスクの相当額を8\%で除して得た額}}$$

2. 令和7年9月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、令和7年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4 主要勘定の状況

（単位：百万円）

	令和6年9月末	令和7年3月末	令和7年9月末
貯 金	600,459	600,690	598,366
貸 出 金	186,182	186,418	185,864
預 金	340,237	336,688	337,334
有 価 証 券	71,164	59,962	72,319

（注）令和6年9月末および令和7年9月末の残高は帳簿価額を、令和7年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。

5 有価証券等の時価情報

（単位：百万円）

	令和7年3月末			令和7年9月末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
金 銭 の 信 託	4,000	3,830	▲ 169	4,600	4,603	3

（単位：百万円）

	令和7年3月末			令和7年9月末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
満 期 保 有 目 的 の 債 券	-	-	-	-	-	-

（単位：百万円）

	令和7年3月末			令和7年9月末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
そ の 他 有 価 証 券	74,528	59,962	▲ 14,565	72,319	55,910	▲ 16,408
株 式	1,936	1,856	▲ 79	1,144	1,103	▲ 40
債 券	55,105	44,036	▲ 11,069	55,376	42,524	▲ 12,851
そ の 他	17,486	14,069	▲ 3,416	15,798	12,282	▲ 3,516

（注）1. 金銭の信託、満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. 令和7年9月末の含み損益・評価差額は、令和7年9月末時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。
3. 子会社株式で時価のあるものはありません。

（注）本資料中に表示している数値は単位未満を切り捨てていますので、合計が内訳数値の合計と一致しない場合があります。